

# 社会福祉法人福生会 3 年計画

(第六期 3 年計画 2024. 4.1～2027. 3.31 計画)

## I. 作成にあたって

第六期 3 年計画期間では、2025 年に団塊の世代がすべて 75 歳以上となり、その後 2040 年頃には高齢者数がピークを迎える見込みです。生産年齢人口の減少が顕著となり介護を含む各分野における人材不足が大きな課題となります。

令和 6 年度の介護報酬改定では全体で 1.59% のプラス改定となり、一部は基本報酬が増額し、介護老人福祉施設では基準費用額（居住費）も増額されました。しかしながら、物価の高騰や賃金の引き上げによる人件費の増大、入所施設における入院者数の増加、在宅サービスにおける利用者数の減少により当期資金収支差額は減少が続いている現状にあります。事業活動による収支差額「プラス回復」を目指し、地域の実情に応じたサービスの提供を継続し地域に必要とされる法人となるため、今回の介護報酬の改定を受け、新たな加算取得も視野に入れ、以下の取り組みを行います。

### 1. 地域包括ケアシステムの深化・推進

医療と介護の連携強化：在宅、施設における医療ニーズの高い方や看取りへの対応強化

感染症や災害への対応力向上

認知症対応力の向上

高齢者虐待防止の推進

### 2. 自立支援・重度化防止に向けた対応

多職種連携による自立支援・重度化防止の推進

科学的根拠に基づく質の高い介護サービスの提供（LIFE の活用）

### 3. 良質な介護サービスの効率的な提供に向けた働きやすい職場づくり

介護職員の処遇改善による職員のやりがいと定着の促進

ICT や介護ロボットの導入により業務効率化をはかる

生産性向上委員会の設置（課題の把握、施策の検討）

### 4. 人材確保と育成

人材育成：施設内研修の実施と階層別研修プログラムの充実

人材確保：採用戦略の見直しと新規採用者の教育支援体制の充実

### 5. 効率的な経営

財務管理の強化やコスト削減の検討

各事業の稼働率や利用者動向の把握

また、保育園運営については、令和 5 年度から 5 年間三朝町と指定管理を継続することとなりました。三朝町の出生数は下がり続け、園児数を確保することが難しくなっています。今後も三朝町と協議をしながら状況に応じた園児定数の削減や加算の見直し等により経営の安定を図らなければなりません。今後さらに園児総数が減少すると予想される中、更なる新規園児獲得が出来る特色のある保育園経営が必要となります。

保育園においても人材確保と育成は課題であり、介護事業と同様の施策を実施していきます。

以上を念頭において、福生会の苑是と理念、基本方針に基づき、社会福祉法人福生会3ヵ年計画を作成します。

尚、この中期計画の作成にあたっては、現行の介護保険制度の改正、介護報酬等の改正、保育事業関係法令の改正、現在の社会情勢、税と社会保障の一体改革、社会福祉法人改革等を勘案し、その都度整合性を図ることが必要となります。

令和6年4月(2024)



社会福祉法人 福生会  
施設長 藤原 佐智